

施工説明書

住宅用宅配ボックス

COMBO

コンボ



このたびは宅配ボックス コンボをご採用頂き、まことにありがとうございます。


- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。


安全上のご注意 必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 してはいけない内容です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 実行しなければならない内容です。

警告



禁止

- 仕様変更・改造は絶対にしない
けがの発生や事故のおそれがあります。変更、改造、分解された場合は商品の保証は致しかねます。



必ず守る

- 商品の施工は、施工説明書にしたがい確実に
火災、落下によるけがのおそれがあります。

注意



禁止

- 通行の妨げとなる場所、危険な高さおよび極端に高い場所や低い場所には設置しない
けがの発生や事故のおそれがあります。
- 家屋への埋め込み施工はしない
けがや建屋内へ雨水浸入のおそれがあります。



必ず守る

- 取り出しスペースを十分にとる
扉の開閉操作が十分に行える場所に設置してください。けがの発生や事故のおそれがあります。
- 施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する
ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。
- 部材が重量物の場合、運搬、取付作業は2人以上で行う
けがのおそれがあります。

施工上のお願い

- 本商品は住戸専用商品です。
集合住宅の共有部などには設置しないでください。
- 宅配業者の方が目につきやすい場所への設置をおすすめしますが、設置場所については施主(オーナー)様と事前に打合せください。
- 本体にはリシンなどの塗料はかけないでください。
塗料がはがれたり、変色の原因になります。
- 製品の表面保護はマスキングテープをご使用ください。(養生テープは、お避けください)また、周囲作業(モルタル、吹き付け仕上げなど)時のみの貼り付けで、作業後は速やかに取り外してください。
養生テープを使用したり、長時間の貼り付けをしたりすると塗装がはがれたり、変色したりする原因になります。
- 本体はZAM(高耐食溶融めっき鋼板)にアクリル系樹脂塗装をしていますが、さびが発生することがありますので硬いものでこすったり、傷つけないように注意してください。
- 本体を塩酸などの酸類で洗わないでください。
さびの原因となります。
- 本体内部へ水を入れないでください。
押印装置の故障の原因になります。
- ブロック塀に本体を埋め込む場合、本体上面のブロックは3段までです。
- 本体の底面をモルタルなどで完全にふさがらないでください。
- 強度確保のため、下記の項目を守ってください。
 1. 基礎穴は基準通りに設けてください。(ポール施工の場合)
 2. 各部材の組立、取り付けは説明書通り確実に行ってください。
 3. ねじ止め箇所は、指定のねじで全て確実に行ってください。
- クラックが発生した外壁(サイディング)へは取り付けできません。
(コンバクトタイプ、ハーフタイプ)
取り付けの際には外壁(サイディング)の点検を行った上、設置を行ってください。

<外壁(サイディング)のクラックについて>

- サイディングにきれつ(クラック)が発生していないかを、目視にて点検してください。きれつが微細な場合は補修を行い、きれつが大きく、著しい欠損やはがれ落ちそうな場合はその部分を取り外し、新しいサイディングに張り替えてください。
- 地震の後などは、特にくぎ(ねじ)まわりの点検を行ってください。
- サイディングへの設置の際、凍害対策として、アンカー用下穴小口へのシーリング処理をおすすめします。

梱包明細

●本体

(コンバクトタイプ/スリムタイプ/ハーフタイプ/ミドルタイプ) FF・FR共通

部品名	入数
宅配ボックス本体	1
施工説明書・取扱説明書	各1
キー	2
ゴム付きねじ(M4×8)	4

●据え置き施工用ベース

(スリムタイプ/ミドルタイプ) FF・FR共通

部品名	入数
ベース本体	1

【注意】 アンカーボルトは現場手配となります。
推奨品：M8用アンカーボルト(SUS304製)

●埋め込み専用ポール

(スリムタイプ/ハーフタイプ/ミドルタイプ) FF・FR共通

部品名	入数
ポール本体(左右)	各1
廻り止め棒	2

●あと施工用ポール

部品名	入数
ポール本体(左右)	各1

●あと施工用ポール 取り付け金具

部品名	入数
ベースプレート(左右)	各1
アンカーボルト [サンコーテクノ製オールプラグ ボルト AS-845S(M8)]	8
アンカー用ワッシャーM8	8
取付ねじ(M6トラスねじ)	8
ゴムシート	1
施工説明書・取扱説明書	各1

※あと施工の場合は、あと施工用ポール
取り付け金具に同梱の施工説明書
をご確認ください。

各部のなまえとはたらき

※イラストは前出し<FF>タイプです。

●荷受確認表示

施錠セット後に扉を閉めると、「受け取りできます」(緑色)→「使用中」(赤色)に変わります。

●キー

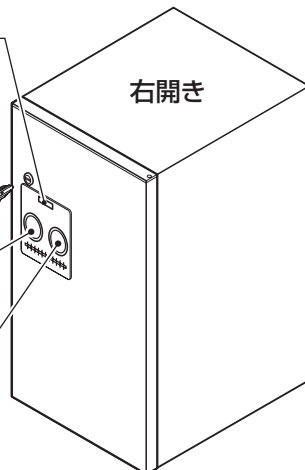
解錠専用です。荷物を取り出す時に使用します。

●プッシュボタン (①開ける)

扉を開く時に使用します。

●なつ印ボタン (④なつ印)

荷物を受取り扉を閉めて施錠されると一回だけ押印できます。

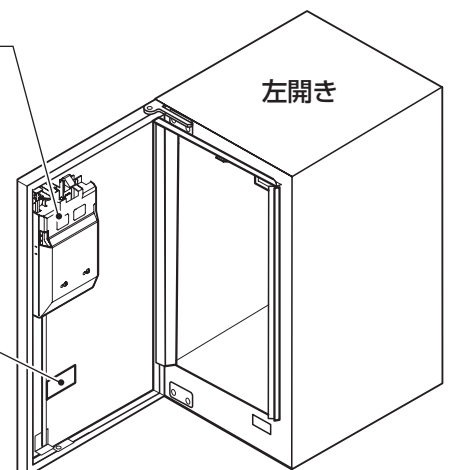


●施錠レバー

荷物を入れてレバーを下げ、扉を閉めると鍵がかかります。

●閉じ込め防止装置 (ミドルタイプのみ)

閉じ込められた時など内側からこのレバーを押すと、扉を開けることができます。



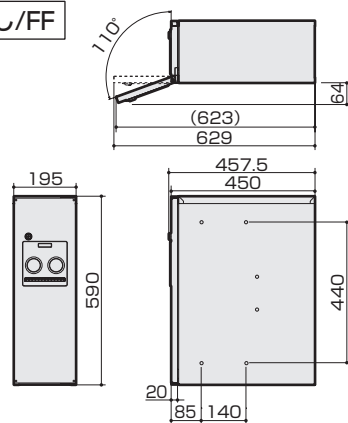
寸法図

[単位：mm]

スリムタイプ

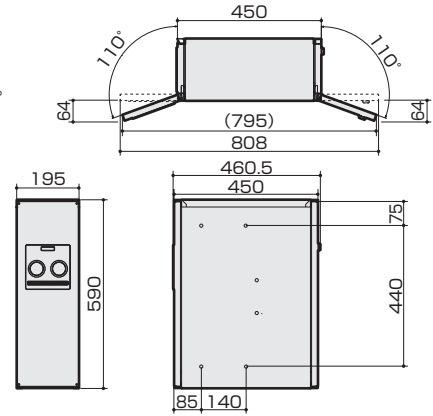
※イラストは
〈右開き〉です。

前出し/FF



後出し/FR

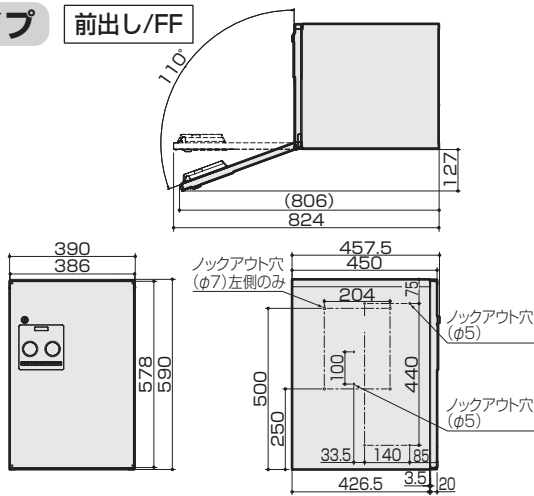
※イラストは
〈右開き〉です。



ミドルタイプ

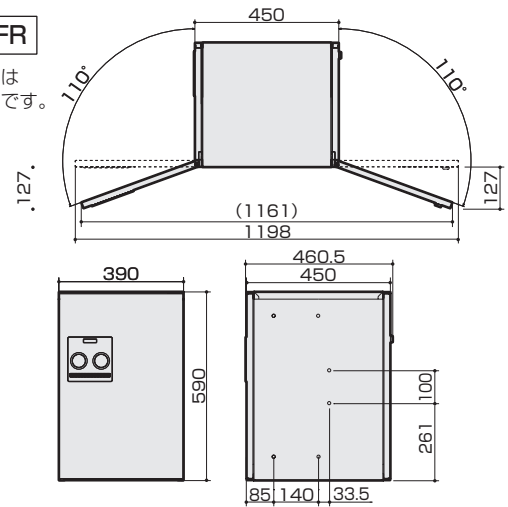
※イラストは
〈右開き〉です。

前出し/FF



後出し/FR

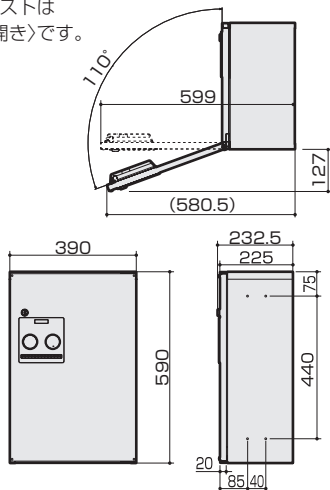
※イラストは
〈右開き〉です。



ハーフタイプ

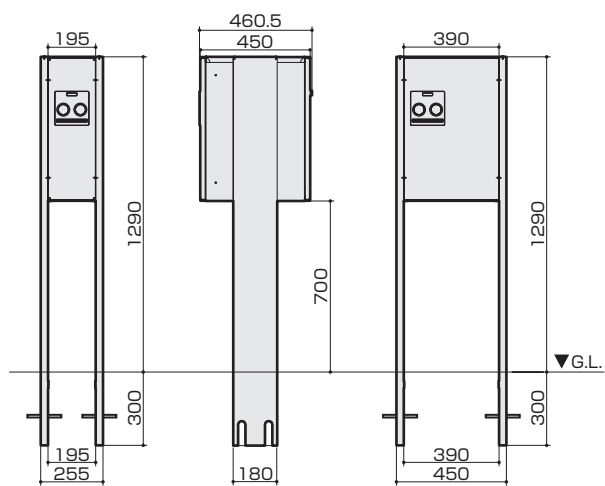
※イラストは
〈右開き〉です。

前出し/FF



埋め込み専用ポール施工納まり

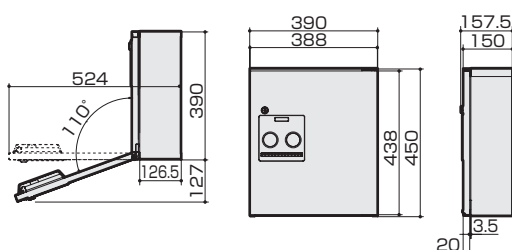
※イラストは
後出し/FRです。



コンパクトタイプ

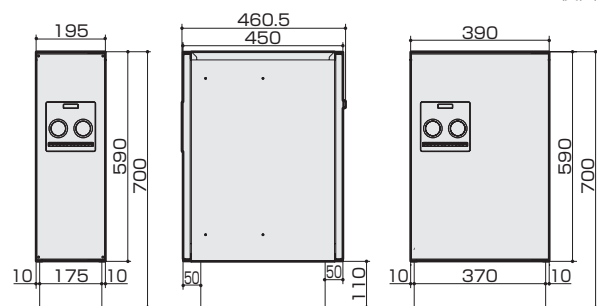
※イラストは
〈右開き〉です。

前出し/FF



据え置き施工用ベース施工納まり

※イラストは
後出し/FRです。



※「あと施工用ポール施工」納まりは、あと施工用ポール取り付け金具に同梱の施工説明書をご確認ください。

施工手順

埋め込み施工の場合 (スリムタイプ/ミドルタイプ)

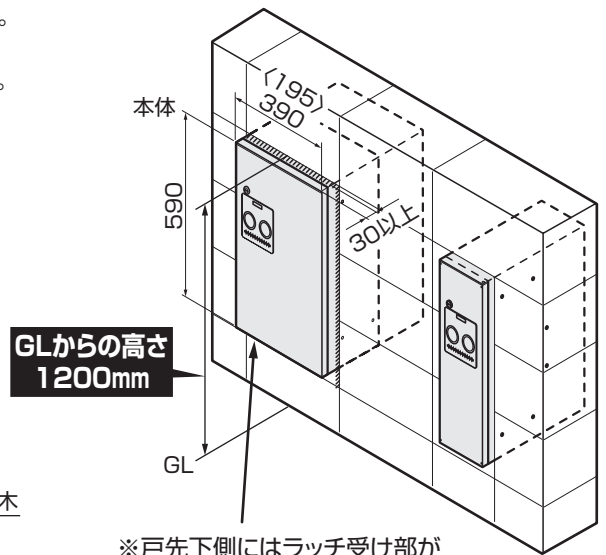
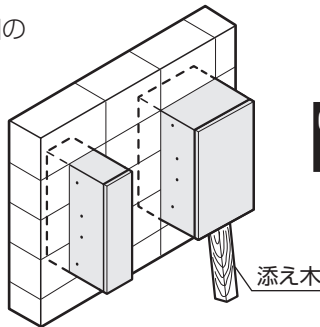
1 門扉に取付穴を設ける

- 本体寸法より縦・横10mmぐらい大きめの穴を壁に開けてください。(ブロック積みの場合はブロックと同じように積み上げてください)
- 本体埋め込み高さは、天面が地上より約1200mm程度にしてください。

2 本体を取付穴に納める

3 本体を固定する

- 水準器などで水平出しをして、本体周囲の目地をモルタルまたはシーリング材で仕上げてください。
- 本体がモルタルなどで固定されるまで添え木で固定してください。
- 本体は化粧面より**30mm以上**出して納めてください。
- 本体の表面保護をする場合は、マスキングテープをご使用ください。(養生テープ不可)
- 本体下側、もしくは裏側からモルタル増しをする際は注意してください。

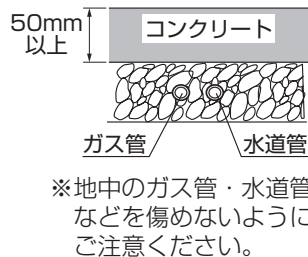


※戸先下側にはラッチ受け部があります。ラッチ受け部(板ばね)にモルタルなどを詰めないでください。

据え置きベース施工の場合 (スリムタイプ/ミドルタイプ)

1 設置場所の確認をする

- コンクリート土間に設置してください。
- 設置場所が砂利、土砂など基本基礎以外のときは、コンクリート打ち込み土間仕上げ(厚み50mm以上)を行ってください。

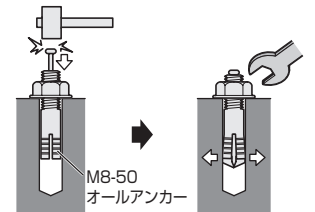


4 アンカーボルトを取り付ける

※アンカーボルトは現場手配となります。

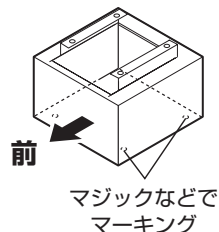
お願い

- 差込方向を間違えないでください。



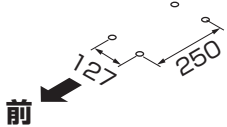
- ① 本体にナット・ワッシャーをセット後、下穴に挿入し、打ち込む
- ② スパナなどで、ナットの締め付けを確認

2 ベースを仮置きしてアンカーボルトの位置を決める

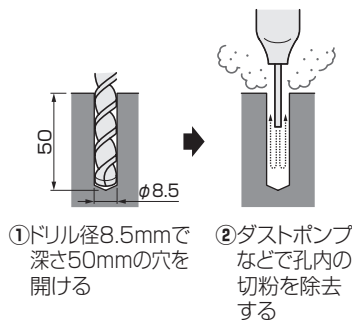
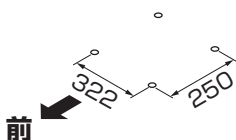


3 下穴を開ける

●スリムタイプ



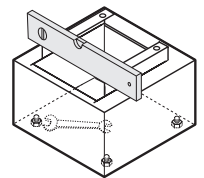
●ミドルタイプ



- ① ドリル径8.5mmで深さ50mmの穴を開ける
- ② ダストポンプなどで孔内の切粉を除去する

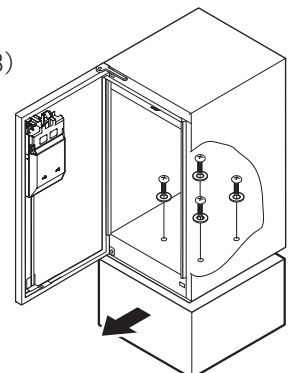
5 ベースを固定する

水平・垂直を調整し、ナットで固定してください。



6 本体を固定する

宅配ボックスをベースにのせてゴム付きねじ(M4×8)4本で固定してください。



壁掛け施工の場合（コンパクトタイプ／ハーフタイプ）

ブロック塀に取り付けるとき

① 本体のノックアウト穴を開ける

- 背面の穴6個を打ち抜いてください。
- 施工後、ねじ周辺にシーリング処理を行ってください。

② ブロック塀に穴を開ける

- 適合ドリルを使用してください。
（カールPCプラグφ7×35使用の場合は下穴φ7.0）

③ カールPCプラグを打ち込む

- ※カールPCプラグは現場手配となります。
- 穴の深さコンクリート下地から35mm以上（別途所定の）埋め込み深さを確保できるねじ、プラグボルトを現場手配ください。
- カールPCプラグが折損しないように、ゆっくりと打ち込んでください。

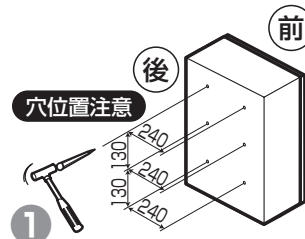
お願い

- ブロック目地部にはカールPCプラグを打ち込まないでください。強度不足による落下のおそれがあります。

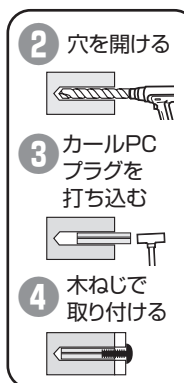
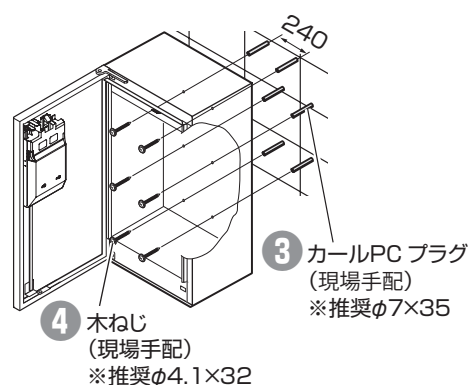
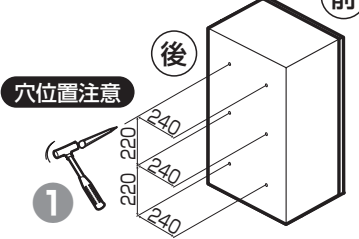
④ 木ねじで本体を取り付ける

- ※木ねじは現場手配となります。
- 宅配ボックスの内側から固定してください。

●コンパクトタイプ



●ハーフタイプ



家屋外壁に取り付けるとき

- RCの外壁には上記「ブロック塀に取り付けるとき」の施工をしてください。
- 金属サイディングには取り付けないでください。

① 本体のノックアウト穴を開ける

- 背面の穴6個を打ち抜いてください
（ブロック塀に取り付けるときと穴は同じです）。
- 施工後、ねじ周辺にシーリング処理を行ってください。

② 家屋外壁に穴を開ける

- 中空用アンカー（ボードプラグ）に適合するドリルを使用してください。

- お願い** ●凍害対策として、アンカー用下穴小口へシーリング処理をおすすめします。

③ 下穴に中空用アンカー（ボードプラグ）を挿入、固定する

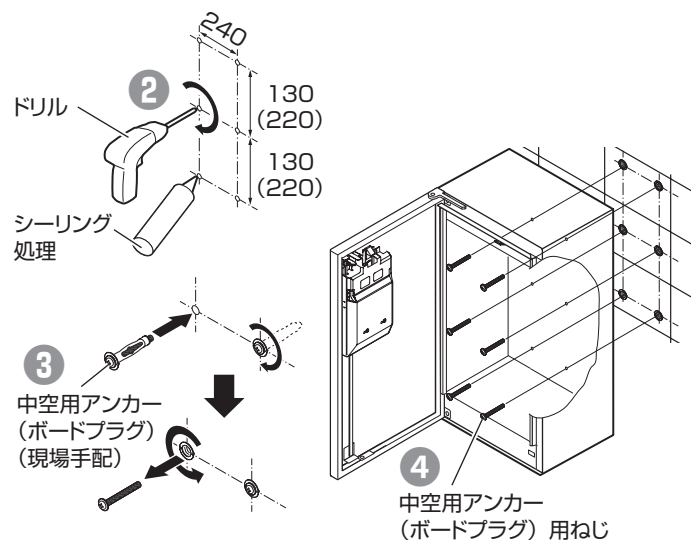
- 下穴に中空用アンカー（ボードプラグ）を挿入し、ねじが回らなくなるまで締め付けてください（ねじ頭がつぶれないようにご注意ください）。
- 中空用アンカー（ボードプラグ）を外壁に固定した後、中空用アンカー（ボードプラグ）用ねじを外してください。

- お願い** ●充電ドライバーのご使用を避け、手回しでしっかり締め付け確認をお願いします。

④ 本体を取り付ける

- 中空用アンカー（ボードプラグ）用ねじで宅配ボックス内側から固定してください。

- 窯業系サイディングには厚みに応じて市販の中空用アンカー（ボードプラグ）現場手配にて使用してください。



推奨対策部材

- （推奨）ケイミュー製 ロングツタワンD
※詳細につきましては、ケイミュー製品カタログをご確認ください。

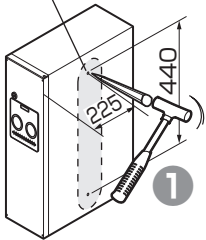
宅配ボックスの伝い水による汚れや凍害を防止します。

宅配ボックスの下部は雨だれが伝わり、汚れやすいものです。伝い水防止水切りはその名の通り、伝い水による汚れを防止するための水切り部材。宅配ボックスの下部に取り付けば、伝い水による壁面の汚れや凍害を防ぎます。

埋め込み専用ポール施工の場合 (スリムタイプ/ハーフタイプ/ミドルタイプ)

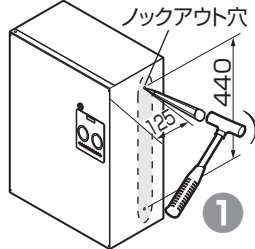
① 本体のノックアウト穴 2 個を打ち抜く

●スリムタイプ・ミドルタイプ共通
ポール施工用ノックアウト穴



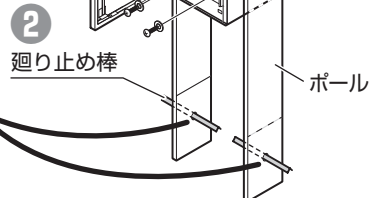
●ハーフタイプ

ポール施工用
ノックアウト穴



② 本体をポールに固定する

●宅配ボックスの内側より
ゴム付きねじ (M4×8)
4本で固定してください。

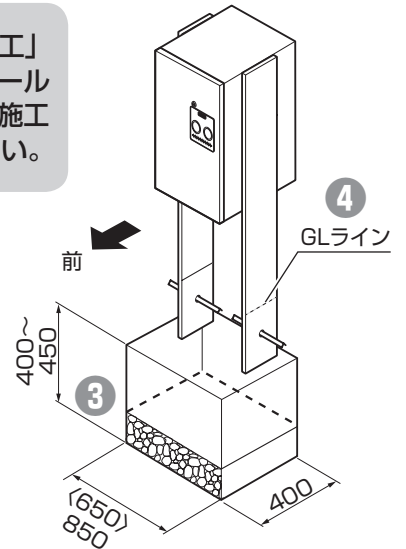


③ 基礎穴を掘り、栗石を敷く

④ 本体(ポール付き)をGLラインまで埋め込む

●ポールがコンクリートで固定されるまで添え木で固定してください。

※「あと施工用ポール施工」
の場合、あと施工用ポール
取り付け金具に同梱の施工
説明書をご確認ください。



$\langle \ \rangle$はスリムタイプ

エントランスポール施工の場合

① 本体のノックアウト穴を開ける

●ノックアウト穴を打ち抜いてください。

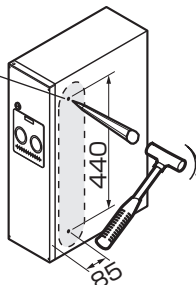
アーキフレームCの場合

●スリムタイプ

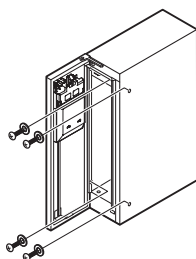


取付用ノックアウト穴

① 扉に近いノック
アウト穴2個を
打ち抜く(φ5)



② ゴム付きねじ
(M4×8mm 4本)
で固定



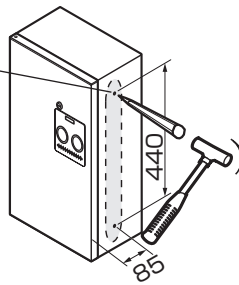
アーキフレームFの場合

●ハーフタイプ/ミドルタイプ

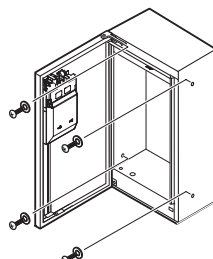


取付用ノックアウト穴

① 扉に近いノック
アウト穴2個を
打ち抜く(φ5)



② ゴム付きねじ
(M4×8mm 4本)
で固定



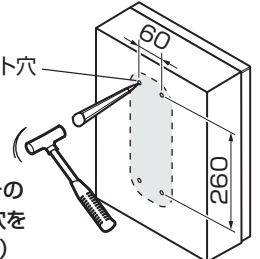
アーキフレーム
D・E・G・Hの場合

●コンパクトタイプ

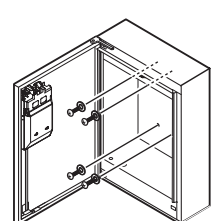


取付用ノックアウト穴

① 60mmピッチの
ノックアウト穴を
打ち抜く(φ5)



② ゴム付きねじ
(M4×8mm 4本)
で固定



※アーキフレームC・D・E・F・G・H以外のエントランスポールのノック穴位置については、各施工説明書をご確認ください。

施工後の動作確認

印鑑の取り付け

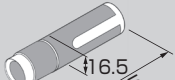
① 印鑑を準備する

※印鑑はおお客様でご用意ください。

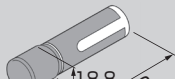
お願い

●印鑑は、シヤチハタ製「ネーム9」を使用してください。その他の印鑑は、ご使用になれません。

キャップを外した状態

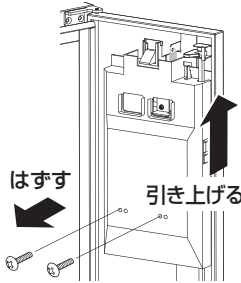


キャップがついた状態



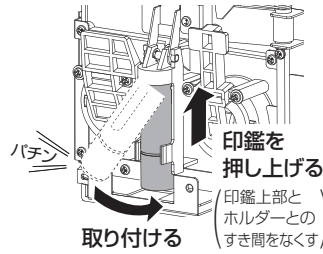
② 前扉を開け、カバーを外す

ねじ2本を取り外してください。



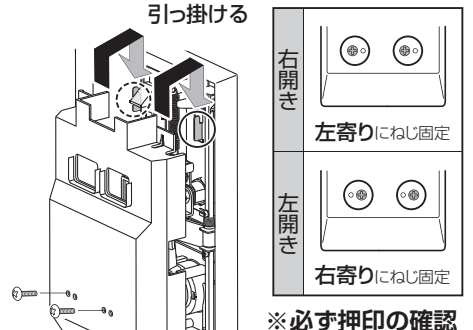
③ 印鑑ホルダーに印鑑をセットする

必ず印鑑のキャップを外してください。



④ カバーを取り付ける

カバーの切り欠き部を扉に引っ掛けて、ねじ2本で取り付けてください。



※必ず押印の確認をしてください。

荷物の配達

(動作確認の前に印鑑がセットされているか確認してください)

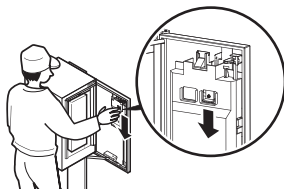
① 「開ける」ボタンを押して扉を開ける

「荷受確認表示」が「受け取りできます」(緑色)になっていることを確認してください。



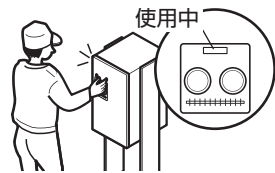
② 荷物を入れて、扉裏側の施錠レバーを下げる

施錠レバーを下げたとき「荷受確認表示」が「使用中」(赤色)になっていることを確認します。



③ 扉を閉める

※扉中央部を押してください。「施錠確認表示」が「使用中」(赤色)に切り替わります。
※扉の上・下が確実に閉まっているか確認してください。



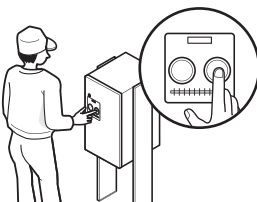
④ 伝票を20mm程度入れる

ご注意

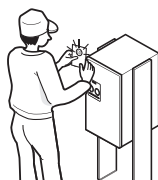
●押印は1回のみです。
なつ印ボタンはカチッと鳴ったら指を放してください。



⑤ なつ印ボタンを押す



⑥ 押印の確認をする

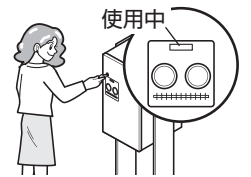


荷物の取り出し方

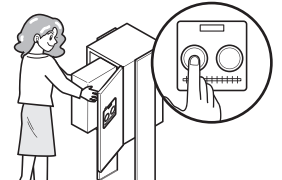
前出し (FF) タイプの場合

① 付属のキーで解錠する

「荷受確認表示」が「使用中」(赤色)の場合、荷物が入っています。



② 「開ける」ボタンを押して扉を開いて、荷物を取り出す



③ 扉の上下が確実に閉まっているか確認する

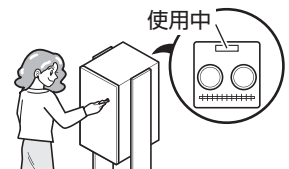
※扉中央部を押してください。扉を閉めた時、「荷受確認表示」が「受け取りできます」(緑色)になっていることを確認してください。



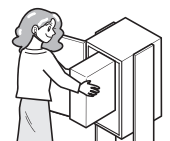
後出し (FR) タイプの場合

① 付属のキーで後扉を解錠する

「荷受確認表示」が「使用中」(赤色)の場合、荷物が入っています。

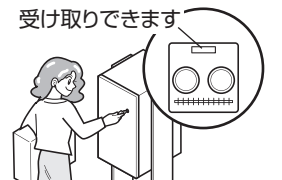


② 扉を開いて、荷物を取り出す



③ 後扉を閉めて施錠する

扉を閉めた時、「荷受確認表示」が「受け取りできます」(緑色)になっていることを確認してください。



施工後の確認

全ての作業の完了後に、下記をチェックしてください。

項目	チェック
●各部のねじのゆるみはないですか？	
●扉の開閉に不都合はありませんか？	
●印鑑をセットしましたか？ 押印は正常に行えますか？	
●取扱説明書をお施主様にお渡しし、使用方法、メンテナンスなどの説明をしましたか？	

仕様

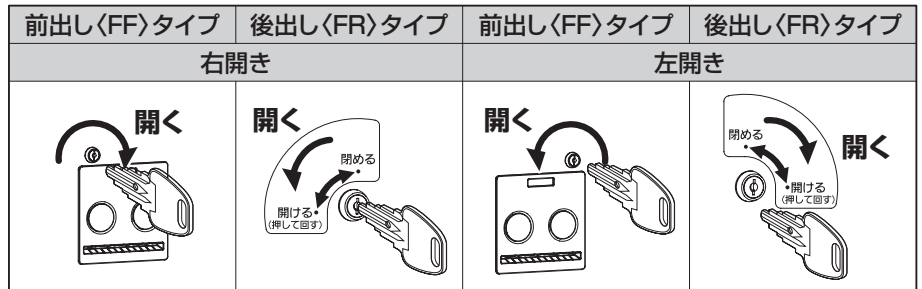
項目	コンパクトタイプ	スリムタイプ	ハーフタイプ	ミドルタイプ
使用環境	周囲温度 -5℃~40℃ 湿度 95%以下			
設置場所	屋外			
最大収納可能サイズ(mm)	幅340×奥行80×高さ360	幅130×奥行350×高さ500	幅340×奥行150×高さ500	幅340×奥行350×高さ500
本体重量(kg)	6.5	9.4	9.5	14.3
材質	ZAM（高耐食溶融めっき鋼板）アクリル系塗装			

故障かな？と思ったら

修理、サービスを依頼される前に次の項目の点検をしてください。

症状	点検	処置
押印ができない	印鑑が入っていますか？	印鑑を入れてください。
	印鑑のインキが切れていませんか？	印鑑のインキを補充してください。
	指定以外の印鑑を使用していませんか？	指定の印鑑に交換してください。
	扉は閉じられていますか？	扉の施錠を確認してください。
伝票が入らない	印鑑が邪魔していませんか？	印鑑を上面に押し上げてセットしてください。
扉が施錠しない	施錠レバーを下げていますか？	施錠セットレバーを下げ扉を閉めてください。
	キーが差し込まれたままになっていませんか？	キーを抜いて施錠レバーを下げてください。
扉が解錠できない	キーを差し込んで、押しながら指定方向に回しましたか？	キーの回転方向の確認をしてください。
	サイズオーバーの荷物が入っていませんか？	扉を押したり、本体をゆすったりした後、解錠操作をしてください。

- キーの回転方向
押しながら付属のキーでシリンダー錠を回し、扉を開ける。



商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 外廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

214-EP186S
D0419-4042